

熊本ば！発掘する

第10回熊本県埋蔵文化財発掘調査報告会

- ◆地元熊本の「歴史」を見て、知ることができる絶好の機会です。
- ◆熊本地震復興事業をはじめ、平成29年度の発掘調査で新たに分かった歴史を分かりやすく解説します。

- 県では、平成28年熊本地震からの復旧・復興を一日でも早く、確実に進めていくため「創造的復興に向けた重点10項目」を掲げ各事業の加速化を図っています。
- こうした復興事業を進める土地に埋蔵文化財がある場合は、調査等を実施する必要があります。
- そのため、県教育委員会では、国(文化庁)や市町村と連携し、県外の自治体の専門職員(11名)の協力を受け、埋蔵文化財の調査等を計画的に取り組んでいます。



せいしよ ころう
清正公道現地説明会(大津町)

平成30年2月17日(土)

○時間：午後1時～午後4時

(受付：午後0時30分～)

○場所：くまもと県民交流館

パレア10階

※入場無料(事前申し込み不要)

報告の内容（熊本ば！発掘する）

（1）熊本地震関係

①熊本地震からの復興に伴う埋蔵文化財発掘調査 せいしょごどう

参勤交代で細川家も通った豊後街道の一部「清正公道」や、宇城市の災害公営住宅建設に伴い県で支援した弥生時代後期のお墓などについて解説。
他県からの支援職員も活躍中。

②熊本地震で被災した古墳等の復旧

国内でも有数の装飾古墳の確認数を誇る本県において、熊本地震で生じた被害の確認、復旧について現在の状態を解説。復旧のためには高度な技術を要するため国、県、市町村でタッグを組んで対応中。

（2）その他

①平成24年白川激甚災害に伴う発掘調査

白川に沿い河川改修に伴い発掘調査を行った、新南部遺跡他7遺跡について、調査の成果と新たな発見について解説。多数の甕棺かめかんが出土し、標石を伴うものもあった。

はば つる

②幅・津留遺跡の発掘調査

阿蘇郡高森町の県道建設工事により発見された弥生時代中期から後期にかけての集落遺跡。九州各地から土器が集まっていることがわかった。

パネル展示も同時開催

熊本地震で被災した歴史的価値のある建造物（町屋等）や、倒壊した家屋から救出した古文書や屏風びょうぶなどの復旧に向けた取組みも紹介します。



～国道57号復旧工事（大津町）～

- ・加藤清正が整備し、江戸時代に熊本藩が参勤交代で使せいしょごどう用した「清正公道（豊後街道）」が大津町で確認されました。
- ・この街道は大分まで続くもので、当時の日本でもトップレベルの規模と整備内容であることが分かりました。

【お問合せ】

熊本県教育庁文化課文化財資料室 TEL：0964-28-4933
（土・日・祝日を除く、8時30分～17：00まで）